

## 出張ブックトーク

福生市立中央図書館 編

実践事例	
1	<b>対象(年齢・学年)等</b> : 中学生、高校生
2	<b>実施時期</b> : 各学校の希望による
3	<b>概要</b> : ティーン層の図書館利用拡大のため、ヤングアダルト担当が市内の中学、高校でブックトークを行っている。実施については各学校との相談による。
4	<p><b>内容</b></p> <p>現在実施しているのは中学校1校、高校2校の計3校。いずれも学校図書館の担当の先生を連絡役にブックトークの受け入れを検討してもらっている。具体的な内容については学校側との相談による。部活として図書部という活動をしている中学校では部活動の時間を使い、こちらから行うだけでなく、図書部の生徒たちにもブックトークをしてもらっている。また高校では総合的学習や選択の国語の時間などを使い、図書館に親しみ、読書の普及を図るためにブックトークを行っている。</p> <p>&lt;実施日&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福生第三中学校 H21.2.6、H22.3.12、H23.3.3</li> <li>福生高校 H22.2.16、H23.1.19</li> <li>多摩工業高等学校 H22.12.2、H23.1.25、H23.10.27</li> </ul>
5	<p><b>参加者の反応</b></p> <p>「普段あまり読まない本を紹介してもらって興味をもった」「〇〇が面白かった」など対象は人それぞれなのですが、興味を持つ本があったことなど伺えました。本を読まないことで生徒の言語能力に心配を感じているという学校からは「今後もぜひこのような連携と取り組みを進めていきたい」と感想をいただきました。</p>
6	<p><b>連携した諸機関</b></p> <p>福生市立福生第三中学校、 都立福生高校、都立多摩工業高等学校</p>